□はリンク　※はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名　グループホーム アネシス　※

日付　平成19年11月29日

評価機関名　特定非営利活動法人　高齢者・障害者生活支援センター

評価調査員　介護支援専門員・歯科医

介護支援専門員・介護福祉士

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る（改善状況のコメントがあります！）※

１．評価結果の概要

講評

全体を通して（特に良いと思われる点など）

医療法人関係機関の機能を活かして地域との交流・認知症の理解・医療連携等他事業所との協働により環境改善の取り組みがなされている。優しく寄り添う支援が行われており、入居者の穏やかで落ち着いた笑顔が見られました。

アネシス（やすらぎ）は、「明るく、あたたかく、愛をもって」を理念として温かい柔軟な支援に取り組んでいる。また、個人情報にも気遣いされた支援を行っている。

建物は改造されたホームであるが、入居者の皆さんが楽しく日々生活できる喜びを表現している。空間スペース・団欒の部屋にソファを置き食事の区切りをつけ自立支援を考慮した設定が窺えました。

地域運営推進会議を活かした取り組みも軌道に乗り、地域との関係が深まり行事・案内等、評価の取り組み、サービス向上に活かした努力が窺えました。

特に改善の余地があると思われる点

特に改善点はありません。

２．評価結果（詳細）

Ⅰ　運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	

記述項目　グループホームとしてめざしているものは何か

一人ひとりのペースに合わせ、ゆったりと過ごすことが出来、家庭的で落ち着いた雰囲気を提供している。

地域行事の参加、小学校との交流などを通じて、地域の一員として生活が送れるように支援している。

日々の散歩、買物など日常的な外出は希望に応じ頻回にできるよう支援、配慮されている。

明るく、あたたかく、愛をもって・・・ごく普通の生活を送っていただく支援を目指している。

Ⅱ　生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	

記述項目　入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か

入居者の憩いの場所に配慮した取り組みがされており、明るい雰囲気作りに取り組んでいる。

季節感のある掲示や行事参加の写真を貼る事により話題作りをし、会話がはずみやすい雰囲気づくりを行っている。

Ⅲ　ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

Ⅲ　ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	

記述項目　一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か

日常生活の中で個々のペースを保ちながらできることへの支援・残存機能を引き出す支援等をしながら自立への取り組みに努めている。寄り添うケアを心掛けてプライドに配慮したやさしい声掛けやさりげない誘導（食事・排泄・入浴・整容など）でプライバシーの保護に努めている。

Ⅳ　運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	

記述項目　サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。

法人内での研修に参加して認知症への理解を深め、また職場内での勉強会などを実施して資質への向上に努めている。業務カンファレンスの実施により、日常のサービスについて評価・見直しを行い、職員がサービスの質の維持・向上を常に意識して業務にあたるよう努めている。

このPDFは pdfFactory 試用版で作成されました www.nsd.co.jp/share/